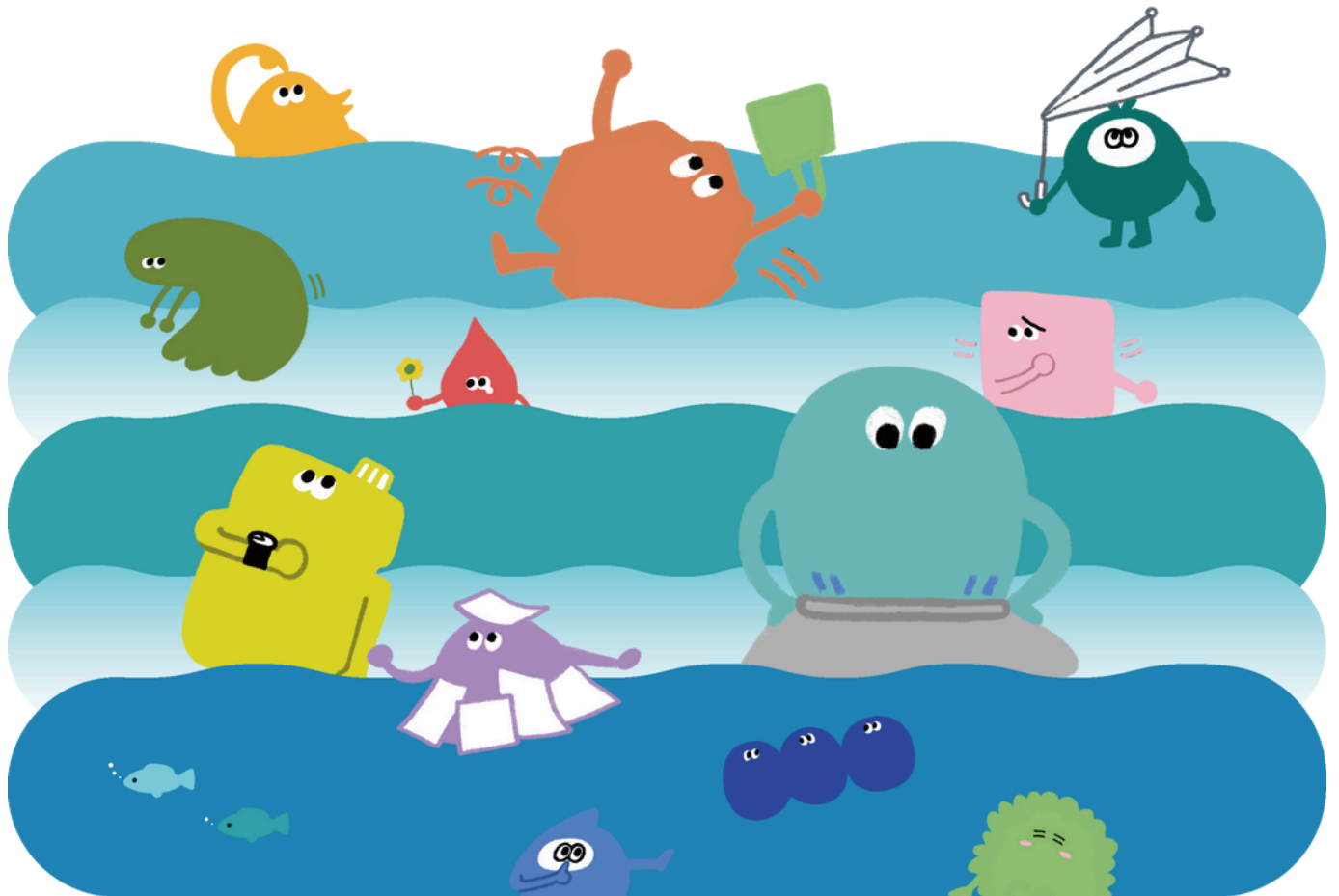


拾って、描いて、地球を救え！

私も変わる対話型ごみ拾いプログラム

うみごme



日程 2025年12月13日 (土) 13:00~16:15

会場 清水マリビル2F 清水区日の出町9-25

駐車場はございません。公共交通機関または近隣の有料駐車場をご利用ください。

募集 座ってお話をきくことができれば年齢は問いません **参加無料**
小学生までのお子様は親子でご参加ください
中学生以上は1名からでも参加OK

海をまもる洗剤の
おみやげ付き

12 / 13
(土)

プログラム ①うみごmeワークショップ ②海ごみアート ③海ごみトーク

主催：美しく豊かな静岡の海を未来につなぐ会（一般財団法人マリンオープンイノベーション機構）

協力：issue+design、静岡県くらし・環境部環境局 廃棄物リサイクル課、海のみらい静岡友の会

お問い合わせ：美しく豊かな静岡の海を未来につなぐ会 tsunagukai@maoi-i.jp 054-340-1800



イベント詳細



申し込み

「回収」と「抑制」を同時に行う うみごme とは？



拾っても、拾っても、なかなか減らない海ごみ。その裏側には「ごみ」自体を生み出してしまっている私たちの社会で何が起きているのか、私たち自身がそこに向き合えていないという現実があります。「うみごme」は、身近に落ちているごみを収集し、そのごみからみえてくる私たちの社会の「小さな身勝手さ＝エゴ」を可視化することで、海ごみを生み出している社会構造に向き合うためのプロジェクトです。

ワークショップの流れ

【うみごme 入門編】



落ちているごみを整理・分類し、ごみを生み出してしまっている私たち1人1人の中にある「気持ち」を特定していったところ、ゴミにつながる『うみごme』があることがわかってきました。対話型ごみ拾いプログラム『うみごme』は、この『うみごme』を活用し、実際に身近なゴミを拾い、参加者同士で学びを深める対話形式で行います。



拾ってきたゴミを捨てたときのひとの気持ちで分類していきます。落ちていた状況を振り返りながら、なぜゴミが生まれているのかを考えます。



ワークの最後には、1人1つずつ、自分自身の中にあるゴミにつながる気持ちを表現し、お別れをする儀式を行います。

海ごみトーク



MC▼
しずおかの海PR大使 さこリッチさん
吉本興業所属 静岡県住みます芸人 スクーバダイバー



ゲストスピーカー▼
海をまろう。代表 もも/momoさん
子どもの「楽しい！」が世界を救う！吉田町で子どもも大人もみんな一緒に楽しむビーチクリーンを主催。



ゲストスピーカー▼
NPO法人MORE企画 代表 ゆみさん
スクーバダイバー3人を中心に発足。伊豆半島の海ゴミー掃プロジェクト主催。山から海まで。地球まるごとお掃除中。



うみごmeプログラム協力 | issue+design

(日本財団「CHANGE FOR THE BULE」の助成を受け、協力しています)

「社会の課題に、市民の創造力を。」を合言葉に、2008年から始まったソーシャルデザインプロジェクト。市民・行政・企業が参加し、地域・日本・世界が抱える社会課題に対して、デザインの持つ美と共感の力で挑む。東日本大震災のボランティアを支援する「できますゼッケン」、認知症の方が生きる世界を見える化する「認知症世界の歩き方」他、行政や企業とともに多様なアプローチで地域が抱える課題解決に挑むデザインプロジェクトを多数実践中。

<https://issueplusdesign.jp/>

うみごme ファシリテーター

みらい塾ポケット代表 狭山市議会議員 笹本英輔さん

